



グローエブルー C & S 炭酸冷水機

据付説明書

安全上の注意.....	2
設置・使用条件.....	4
設置前の注意.....	5
各部の名称とセット内容.....	6
施工全体図.....	10
完成イメージ.....	14
設置方法.....	15
水漏れ点検.....	26
トラブルシューティング.....	28

施工業者様へのお願い

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は、製品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、試験運転をおこない、異常がないことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管いただくように依頼してください。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

〈表示の説明〉



警告

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



警告

■ 電源コード・電源プラグについて



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない。

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

不完全な差し込みのまま使用を続けると、感電・火災の原因になります。



電源コードを傷つけない。

加工する、熱器具に近づける、ねじる、束ねる、引っ張る、無理にまげる、重いものを載せる、挟み込むなどはしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持つ。

電源コードや電源プラグの破損の原因になります。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■ 設置について



屋外に設置しない。

火災・感電の原因になります。



電気工事は、必ず電気工事士の資格者がおこなう。

電気回路容量不足や工事不備があると、火災・感電の原因となります。



熱源や火の近くに設置しない。

火災・感電の原因になります。



飲用の水質基準に適合した水を使う。

体調を損なう恐れがあります。



バスルーム等の水がかかるところや、表面に水滴が生じるような湿気の多い場所には設置しない。

火災・感電の原因になります。

■ 製品の取り扱いについて



分解禁止

分解・修理・改造をしない。
感電・ケガ・故障の原因になります。

⚠ 注意

■ 設置について



冷水機の電源は、24時間水平・垂直の状態を保った後に入れる。
冷却液が逆流し、けがや破損・漏水などの原因になります。



現地の条件に合わせ、装置のバイパス設定で炭酸濃度を設定する。
適正な炭酸濃度でないと、破損・漏水の原因になります。



本製品の浄水器と冷水機は、必ず付属の接続部品で接続する。
その他の塩ビ管、ガス管、金属フレキ管等で配管接続すると、浄水器本体Oリングのゆがみ、接続部のゆるみ、金属フレキ管の亀裂により水漏れを起こすおそれがあります。また、カートリッジを交換できない場合があります。



浄水器・冷水機は平らで安定した場所に設置する。
転倒して漏水の原因になります。



ホース、チューブ、給水・給湯管類は確実に接続し、施工後に水漏れしていないか点検する。



温水は使用しない。
35℃以上の温水を冷水機や浄水器に通すと、浄水ができなくなり、体調を害する恐れがあります。



全量ろ過方式（給水管から分岐浄水しない方法）では配管しない。
殺菌用の塩素が除去された水のみが常時シンクや配管に流れるため、雑菌が繁殖しやすくなります。



ホース、チューブ、給水・給湯管は折れ曲がったり、挟まった状態で設置しない。
漏水の原因になります。



直射日光の当たる場所や凍結する場所に設置しない。
漏水の原因になります。

■ 製品の取り扱いについて



プラグを抜く

再設定、保守・点検をおこなうときは、電源プラグを抜く。
破損・漏水の原因になります。

設置・使用条件

設置条件

- 商業施設では使用しないでください。冷却、炭酸水の製造能力は個人的に使用できる範囲のものです。
- 使用水圧は、流動圧で 0.1MPa [1.0kgf/cm²] ~ 0.74MPa [7.5kgf/cm²] の範囲とします。
- 水道給水配管が、壁の内部に埋設されている場合は、施工できません。
- 冷水機には換気用のダクトが必要です。換気出口には、必要に応じて換気グリルを用意してください。

使用条件

接続	10A ヒューズで保護されたアース線付きの壁ソケット
供給電圧	100 V AC 50/60 Hz
最大消費電力	270 W
保護の種類	IP21
相対湿度	最大 75%
連続使用時間 (ポンプの遮断時間)	約 4 分 30 秒
冷却水の容量	約 1.4L
システム動作圧力	最大 0.6 MPa
流圧 0.3 MPa での流量	約 2L/分
周囲温度	4 ~ 32°C
クーラー / カーボネーター吸水口	最高 20°C
冷却水温度	約 5 ~ 15°C (周囲環境によって異なります)
音圧レベル LpA (自立型)	50 ± 4 dB

- 給水温度 (約 10°C ~ 35°C 程度) は、浄水器の使用条件または、冷水機が安定した温度、供給量が可能な範囲としてください。

設置前の注意

- 開梱、取り付けの際には、製品の表面に傷をつけないよう十分に注意してください。
- 床面は製品重量に耐えることを確認のうえ、動かないように確実に固定してください。
- 冷水機は重量が約 20kg程度あります。製品の落下によるケガにご注意してください。
- 作業は、足場のしっかりした状態で、転倒等が発生しないよう考慮してください。

■ 配管施工について

- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。

※井戸水（水道法に適合した井戸水を含む）では使用しないでください。カートリッジの寿命が大幅に短くなる場合があります。

- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 1台の浄水器本体から、複数の水栓に分岐するような配管方法や、ご家庭内への供給水をすべてろ過するような配管方法（セントラルろ過方式）では使用しないでください。水量が大幅に少なくなったり、カートリッジの寿命が大幅に短くなります。また、この配管方法では、シンクや配管に殺菌用の塩素が除去された水のみが常時流れるため、雑菌が繁殖しやすくなります。
- 浄水器本体と冷水機の配管接続は、必ず付属の接続部品で施工してください。その他の塩ビ管、ガス管、金属フレキ管等で配管接続すると、浄水器本体の O リングのゆがみ、接続部のゆるみ、金属フレキ管の亀裂により水漏れを起こすおそれがあります。また、カートリッジを交換できない場合があります。

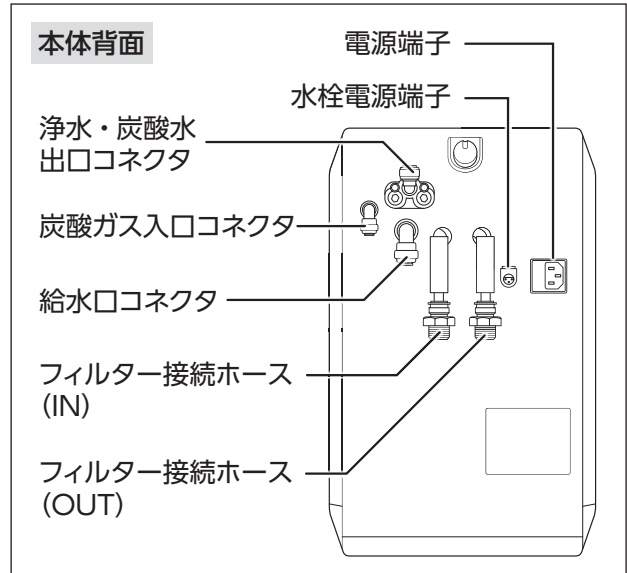
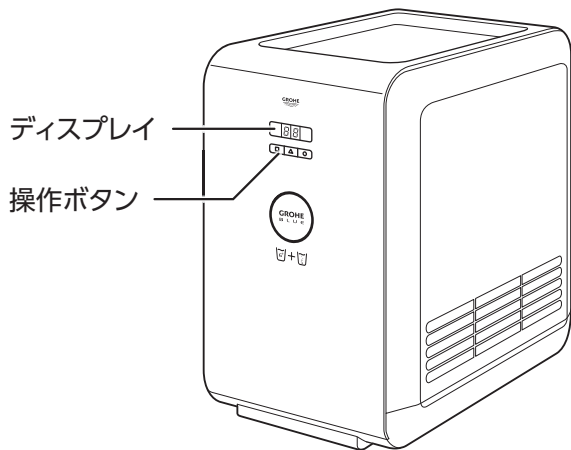
■ 設置場所について

- 直射日光が当たる屋外には設置しないでください。本製品内の水が 30℃以上の温水になるおそれがあります。温水で使用すると、カートリッジに搭載されている活性炭が捕捉した有機物を浄水中に放出するおそれがあります。また、浄水器本体やカートリッジの破損により水漏れを起こすおそれがあります。
- 寒冷地においては、本製品内の水が凍結しない場所に設置してください。凍結すると製品本体やカートリッジが破損し、水漏れを起こすおそれがあります。

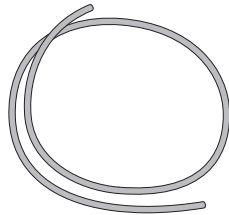
各部の名称とセット内容

■ 冷水機

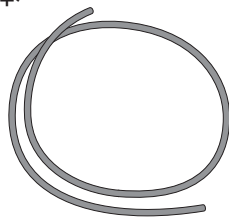
- 本体× 1 台



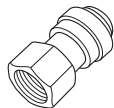
- ガスチューブ
(赤色、直径 6mm) × 1 本



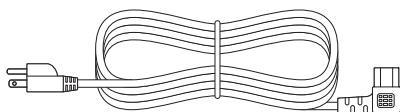
- 給水チューブ
(青色、直径 10mm) × 1 本



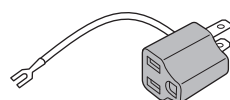
- アダプタ× 1 個



- 電源コード× 1 個



- 2 芯変換プラグ× 1 個



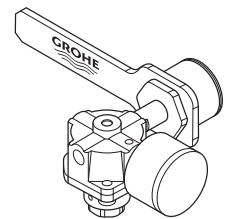
- ボンベ固定器具× 1 本



- ボンベ固定バンド× 1 本



- ボンベレギュレータ× 1 個



- ねじ (M4 × 16) × 2 個
ボンベ固定器具用



- ワッシャー× 2 個



- 抜け止めリング (大) × 2 個



- 抜け止めリング (小) × 3 個

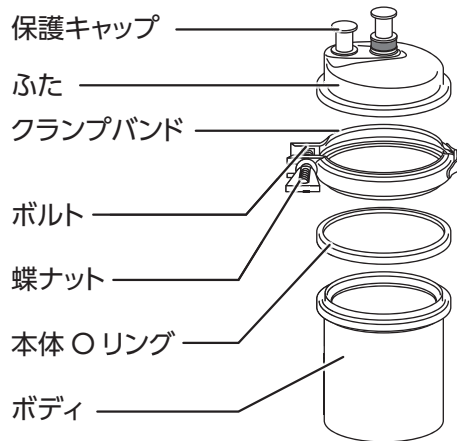


- ねじ (M4 × 25) × 3 個
(使用しません)

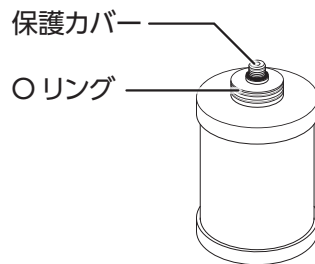


■ 浄水器

● 浄水器本体× 1 個

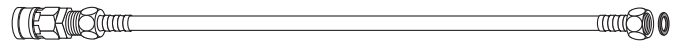


● 浄水器カートリッジ× 1 個



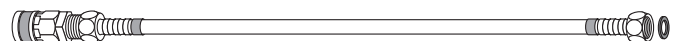
● 給水側ホース× 1 個

(カプラー、ブレードフレキチューブ 800L、パッキン 1 個)

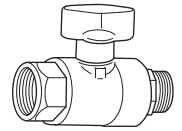


● 浄水側ホース (紫色のシールが貼ってあります) × 1 個

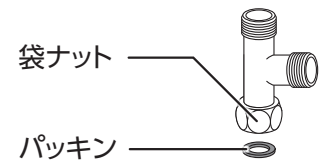
(カプラー、ブレードフレキチューブ 800L、パッキン 1 個)



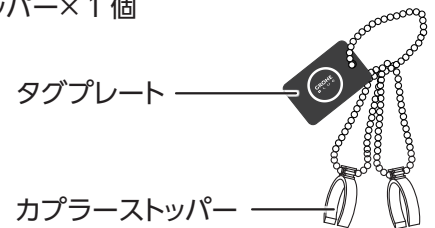
● ボールバルブ× 1 個



● 片ナットチーズ継手× 1 個



● カプラーstopper× 1 個



● 受け皿× 1 個



● 検査プラグ× 1 個 (バイパス用)



お願い

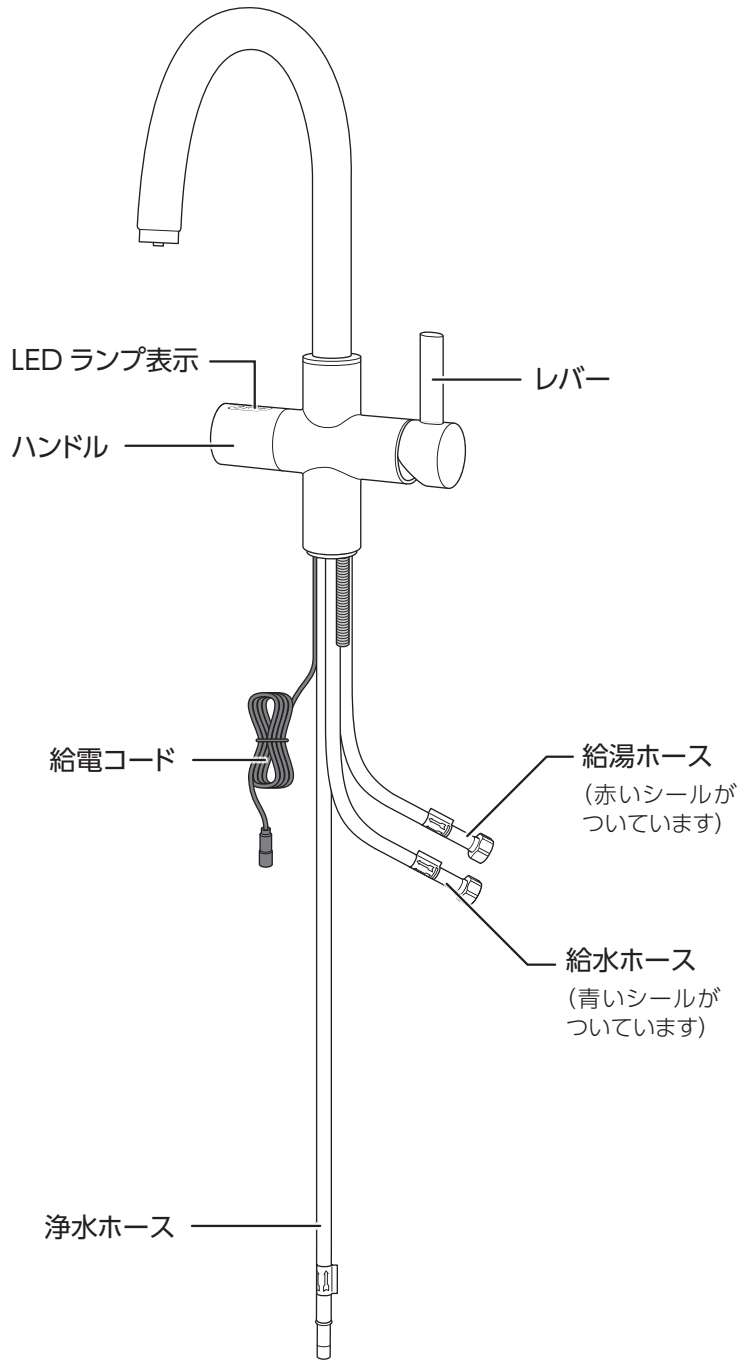
- セット部品の確認は清潔な場所でおこない、小さな部品（パッキン等）を紛失しないようご注意ください。
- 浄水器カートリッジは浄水器本体にセットするまで開封しないでください。
開封するとカートリッジ接続部からゴミ等が侵入するおそれがあります。
- 給水側、浄水側ホースセットは輸送時の振動などでまれに緩んでいる場合があります。必ず接続部の緩みがないか確認してから施工してください。接続部に緩みがあると漏水の原因となります。

各部の名称とセット内容 (続き)

■ 水栓 (単水栓・混合水栓どちらかが付属します)

混合水栓

● 本体× 1 個



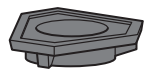
● 化粧リング× 1 個



● パッキン× 1 個



● 三角形固定板× 1 個



● ゴム平パッキン× 1 個
(または馬蹄形パッキン)



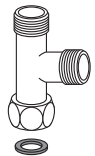
● 馬蹄形ワッシャ× 1 個



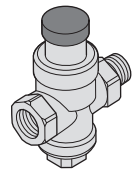
● 締め付けナット× 1 個



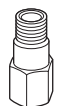
● 分岐栓× 1 個
(小パッキン× 1 個)



● 減圧弁× 1 個

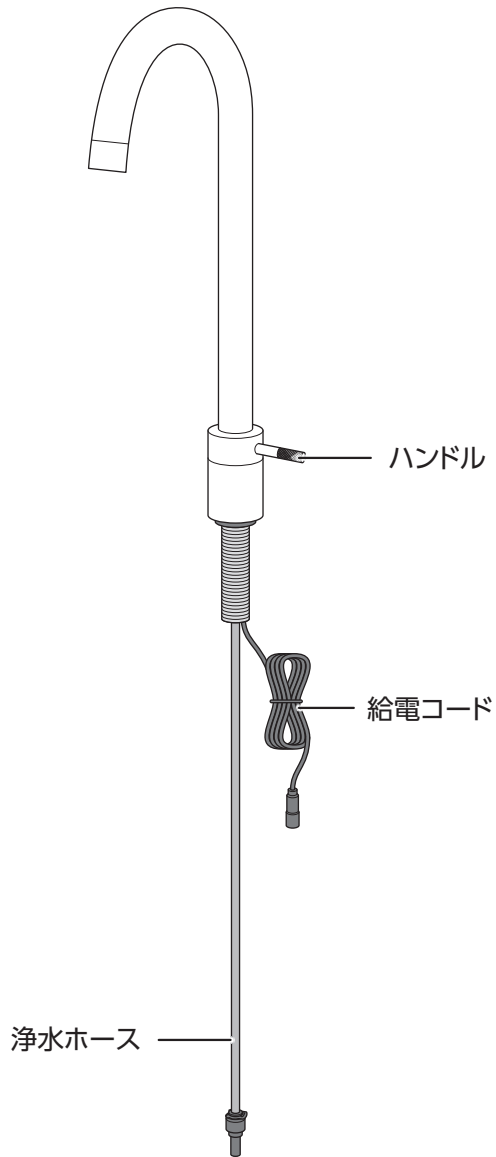


● 逆止弁× 2 個
(小パッキン× 2 個)
(大パッキン× 2 個)



単水栓

● 本体× 1 個



● 化粧リング× 1 個



● パッキン (大) × 1 個



● パッキン (小) × 1 個



● ガイドリング× 1 個



● ゴム平パッキン× 1 個



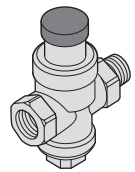
● 平パッキン× 1 個



● 円形固定板× 1 個



● 減圧弁× 1 個



● 逆止弁× 1 個

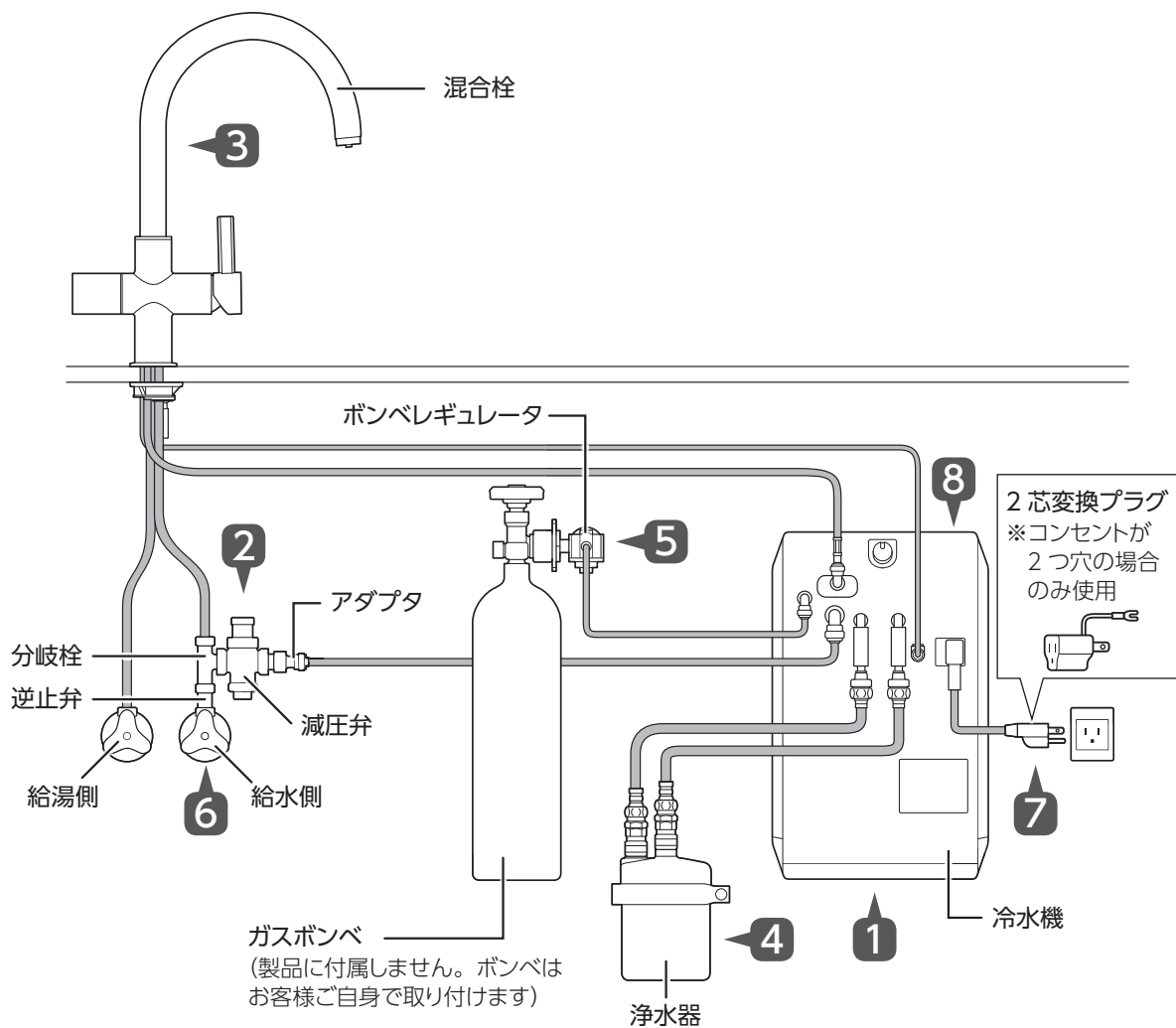
(小パッキン× 1 個)

(大パッキン× 1 個)



施工全体図

■ 混合栓の場合



1 シンク下に冷水機を設置する。
→ 15ページ

2 配水管と冷水機を接続する。
→ 16ページ

3 水栓を設置・接続する。
→ 18ページ

4 浄水器を設置・接続する。
→ 20ページ

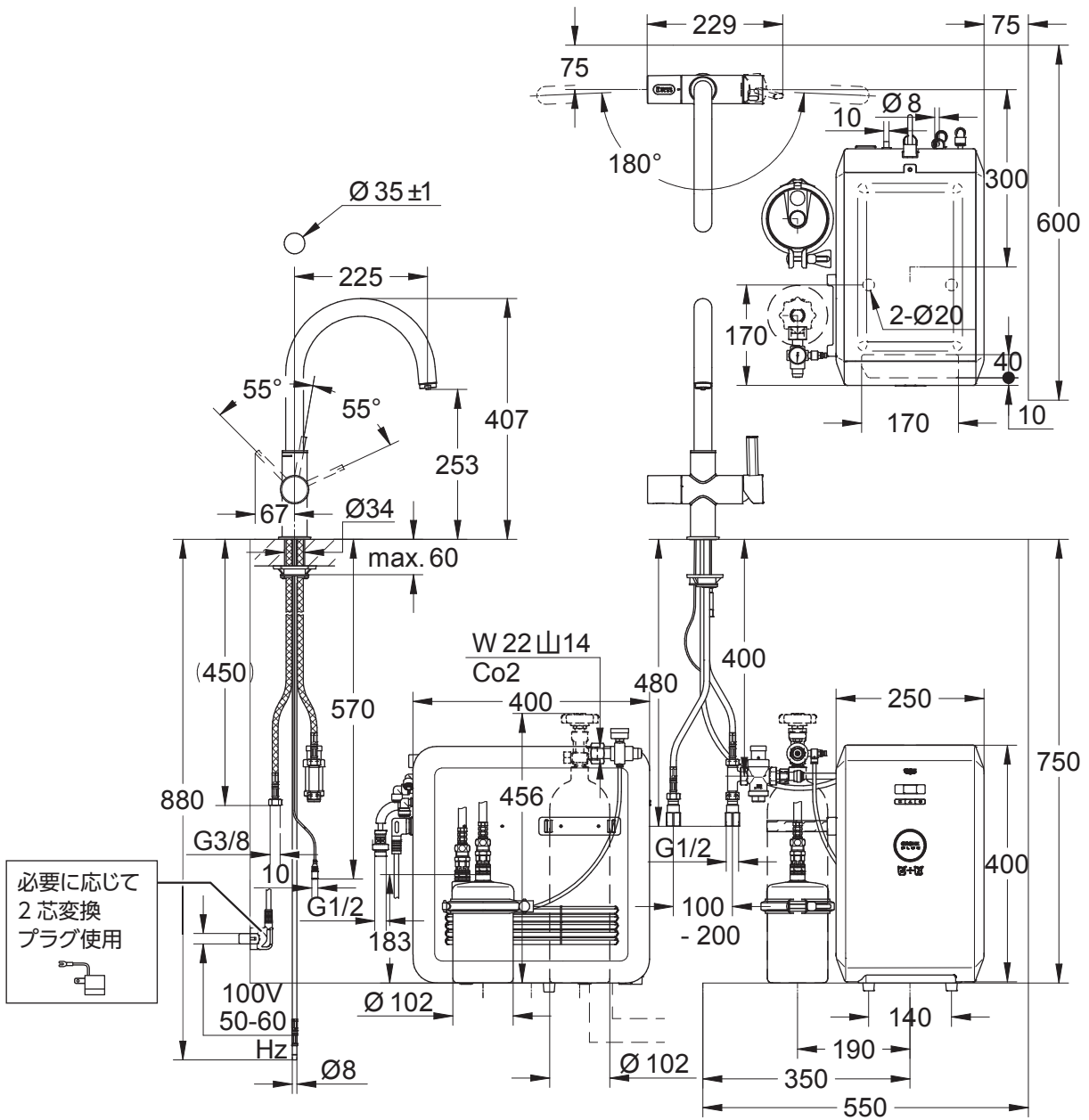
5 ボンベレギュレータを接続する。
→ 23ページ

6 水漏れ確認をする。
→ 24ページ

7 電源を接続する。
→ 24ページ

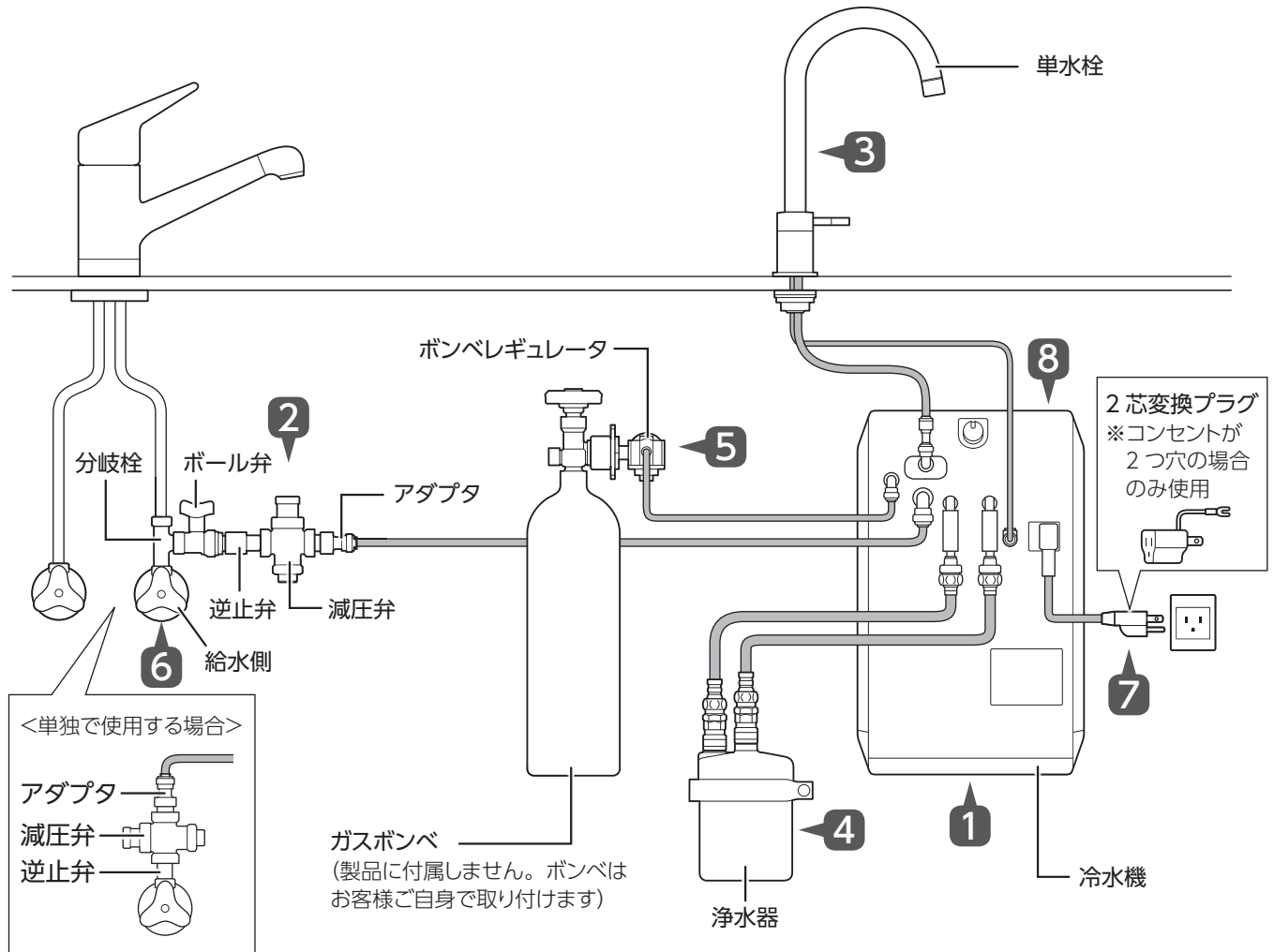
8 冷水機の設定をする。
→ 24ページ

図面



施工全体図 (続き)

■ 単水栓の場合



1 シンク下に冷水機を設置する。
→ 15ページ

2 配水管と冷水機を接続する。
→ 16ページ

3 水栓を設置・接続する。
→ 18ページ

4 浄水器を設置・接続する。
→ 20ページ

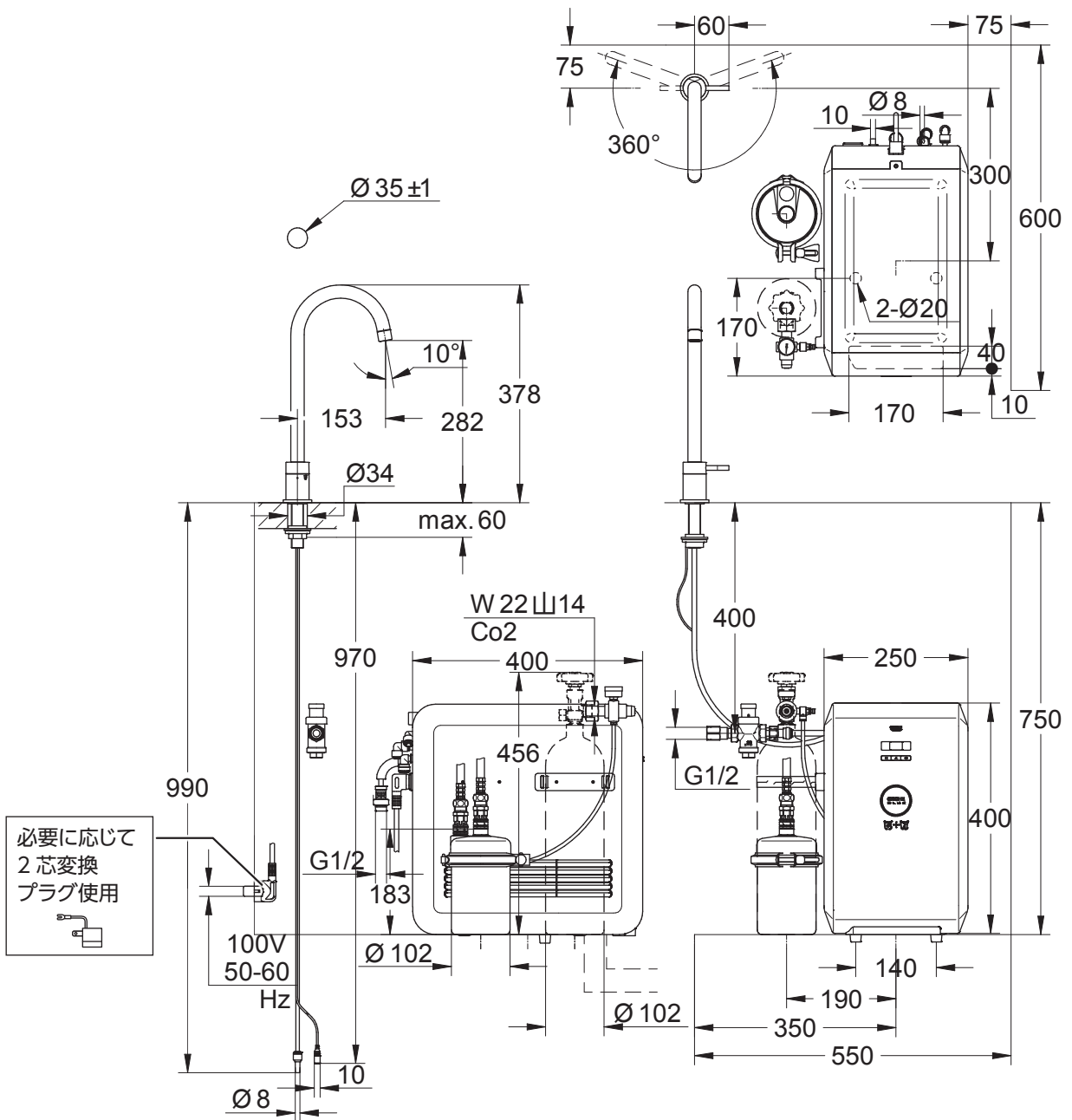
5 ボンベレギュレータを接続する。
→ 23ページ

6 水漏れ確認をする。
→ 24ページ

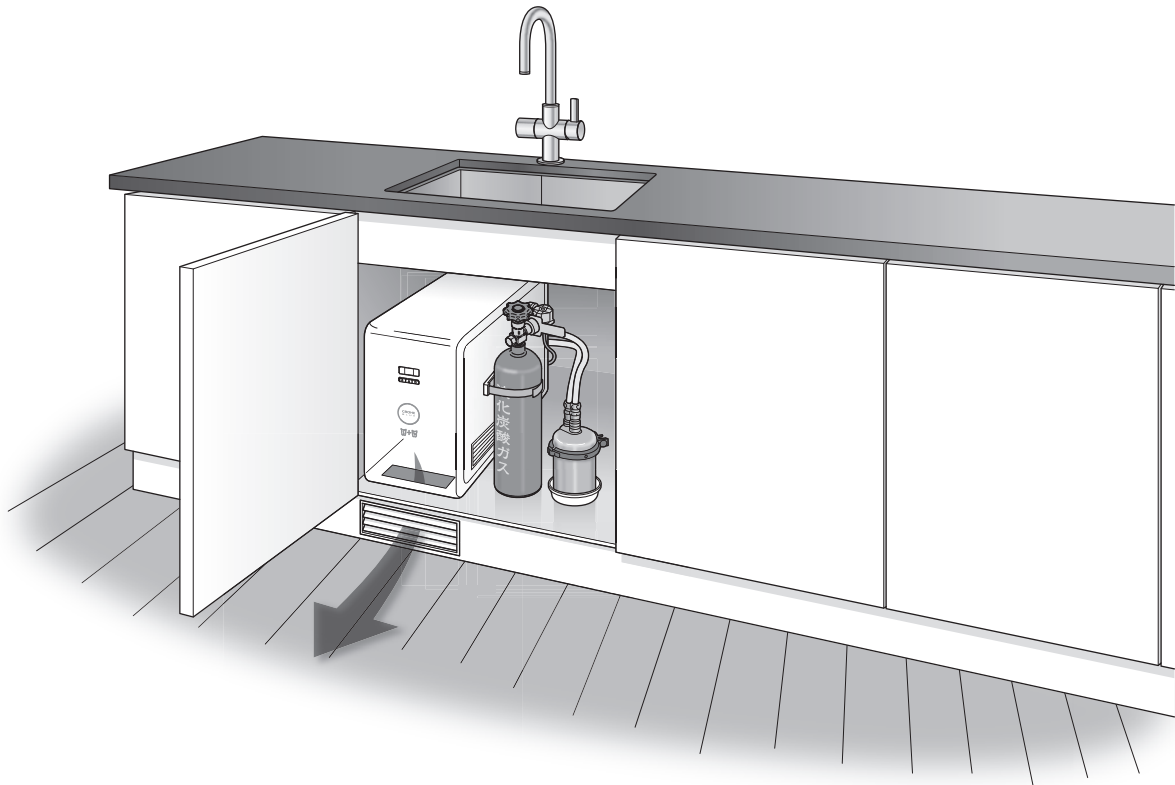
7 電源を接続する。
→ 24ページ

8 冷水機の設定をする。
→ 24ページ

図面



完成イメージ



設置方法

1 シンク下に冷水機を設置する。

1 設置場所を決めます。

※ 冷水機の設置位置は、図面を参考にお客さまとご相談ください。

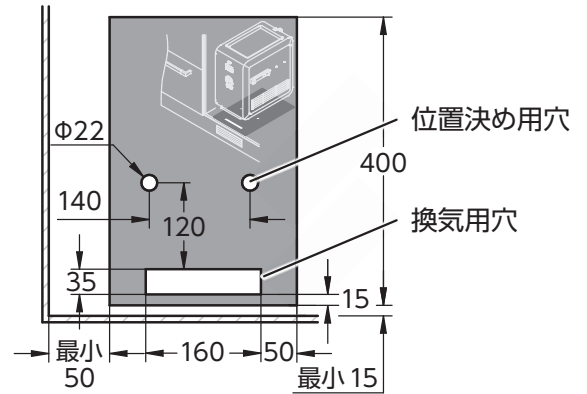
2 位置決め用の穴(2箇所)と換気用のまどを開けます。

冷水機には換気用のまどが必要です。
必要に応じて、換気グリルを設置してください。

3 冷水機を設置します。

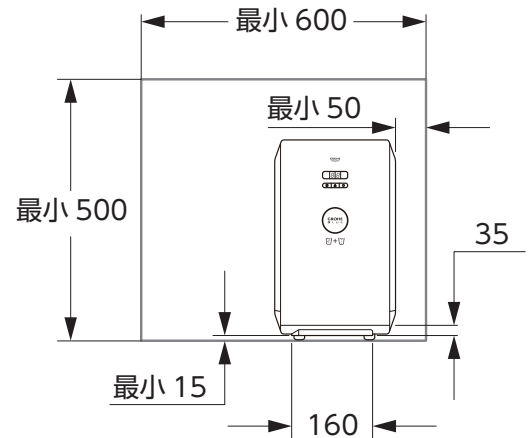
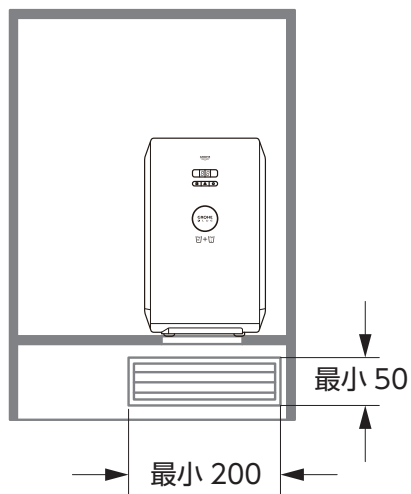
冷水機の冷却液が逆流し、漏れていないか確認してください。
設置後、冷水機がぐらついたりしないことを確認します。

単位：mm

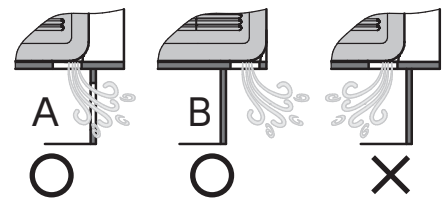


換気グリルを設置する場合

単位：mm



お願い 冷水機からの排気がシンク下にこもらないように換気口を設置してください。



設置方法 (続き)

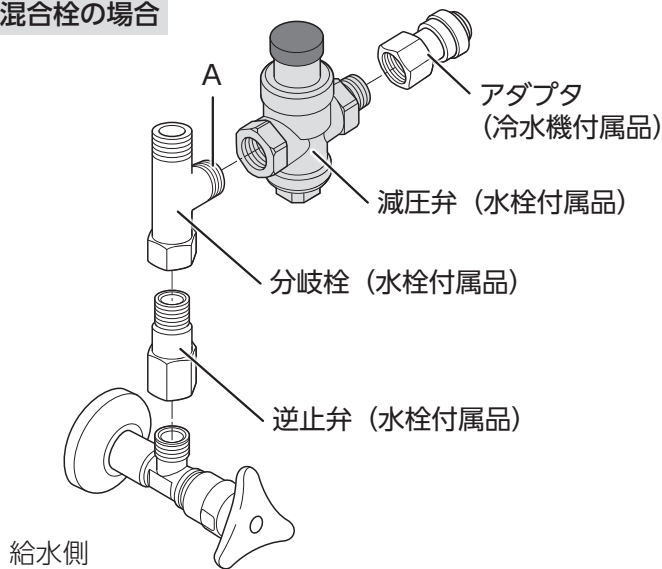
2 配水管と冷水機を接続する。

- 1 止水栓を閉めます。
止水栓がない場合は水道元栓を閉めます。
- 2 水道の配水管に以下のように接続します。

⚠ 注意

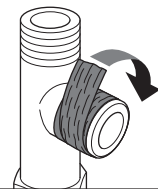
必ず給水側に取り付けてください。湯側に接続すると、浄水ができなくなり、体調を害する恐れがあります。

混合栓の場合



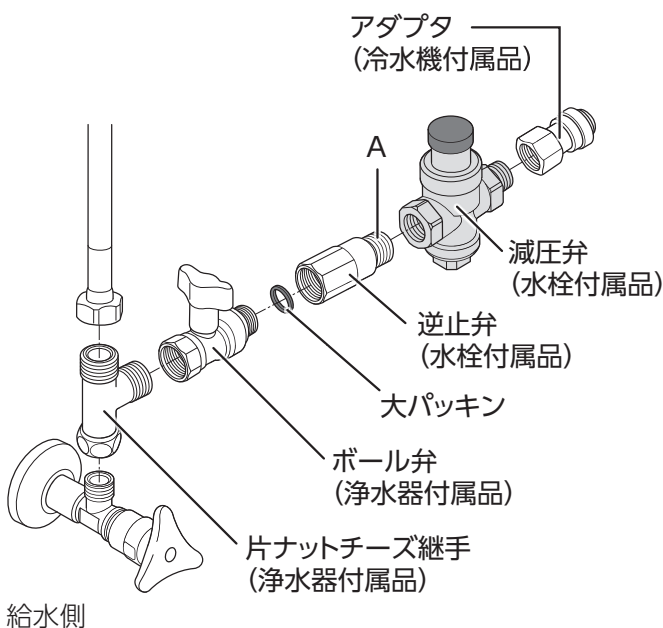
お願い

図中 A の接続部にはシールテープを巻いてください。

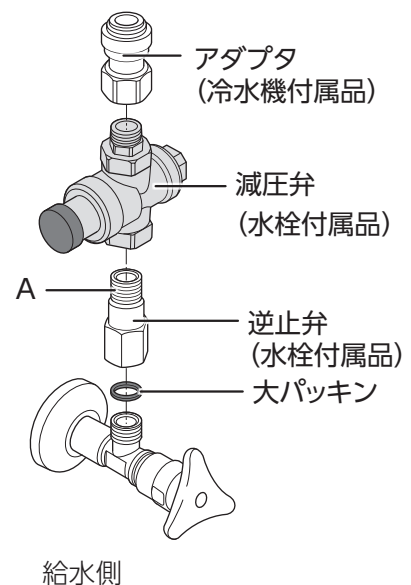


単水栓の場合

<分岐させる場合>

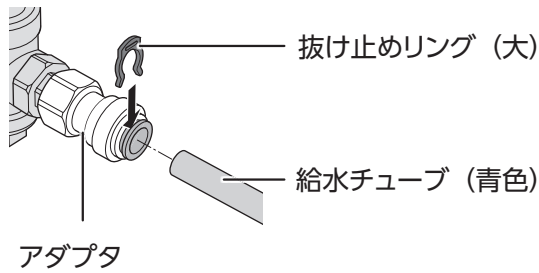


<単独使用する場合>



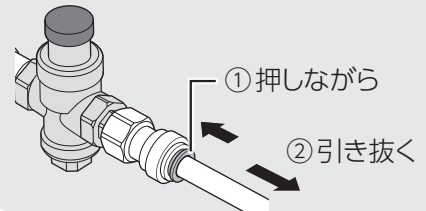
3 アダプタに冷水機付属の給水チューブ（青色、直径 9.5mm）を差し込み、
抜け止めリング（大）をはめ込みます。

- 接続チューブは 10mm 程度中に押し込んでください。



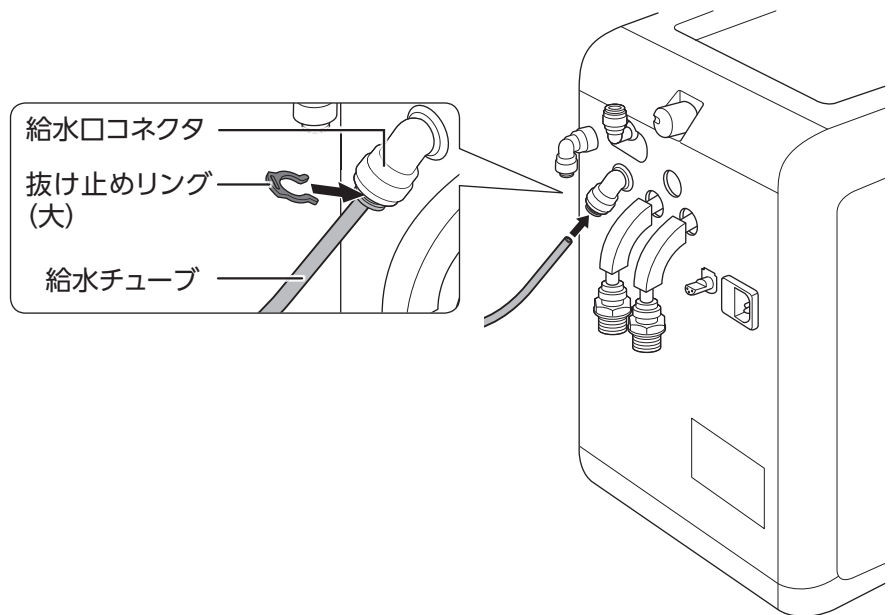
ポイント

チューブをアダプタから抜くときは、抜け止めリングを外し、アダプタのリングを押しなが
らホースを引き抜きます。



4 給水チューブ（青色）の反対側を冷水機背面の給水口コネクタに差
し込み、抜け止めリング（大）をはめ込みます。

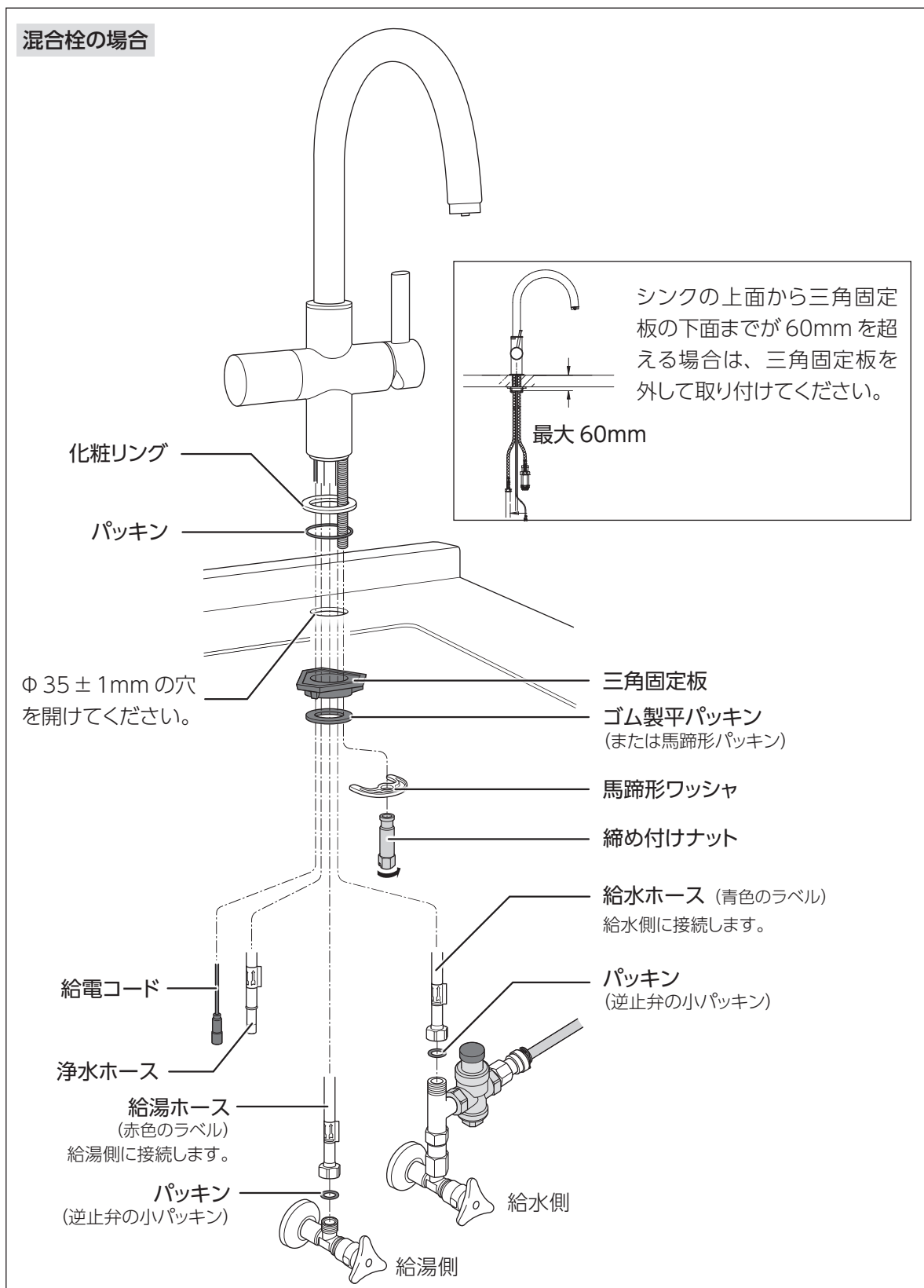
- 接続チューブは 10mm 程度中に押し込んでください。
- コネクタは回転しますので、無理な力が加わらない向きで接続し
てください。



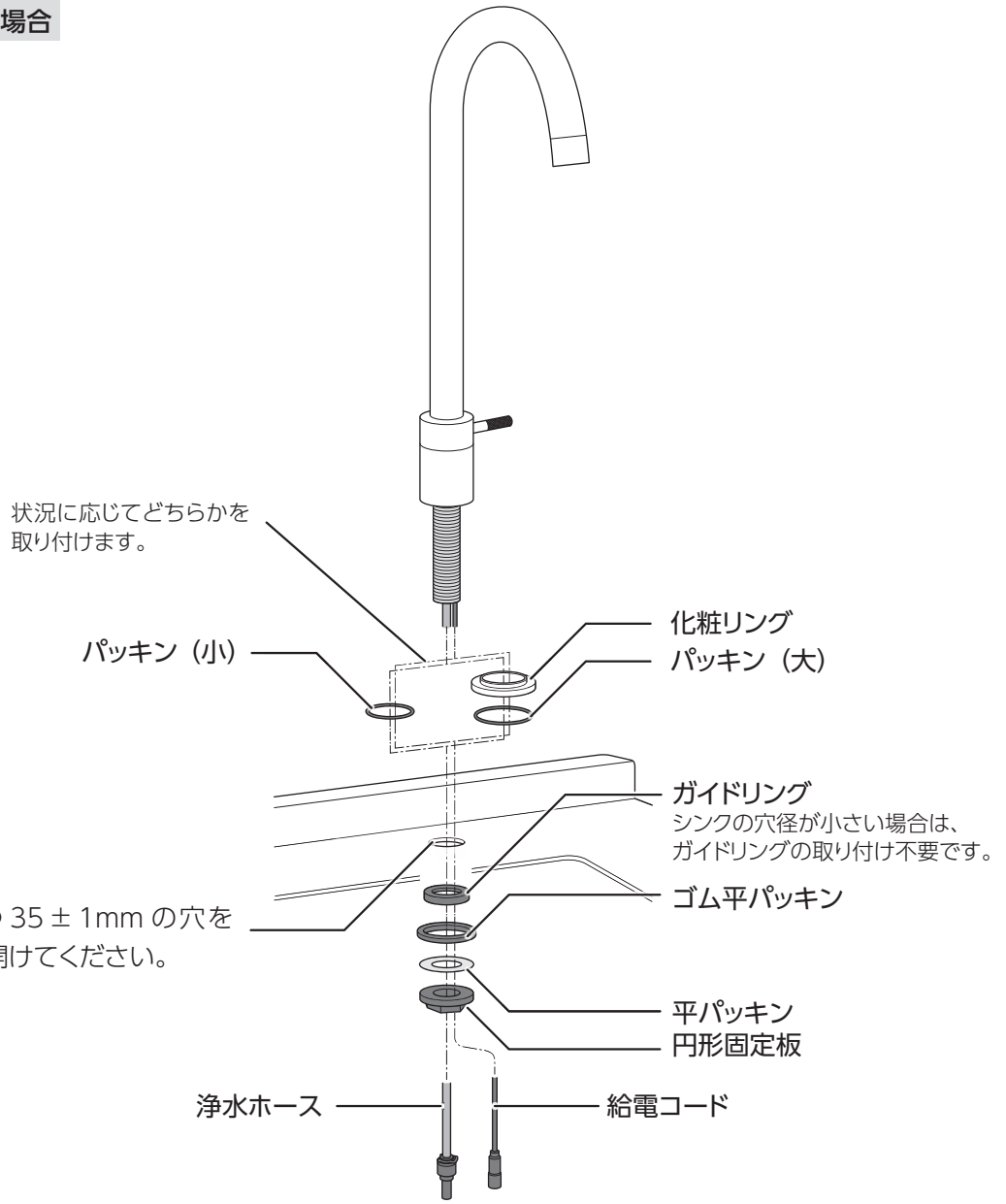
設置方法 (続き)

3 水栓を設置・接続する。

1 図のようにシンクに取り付けます。

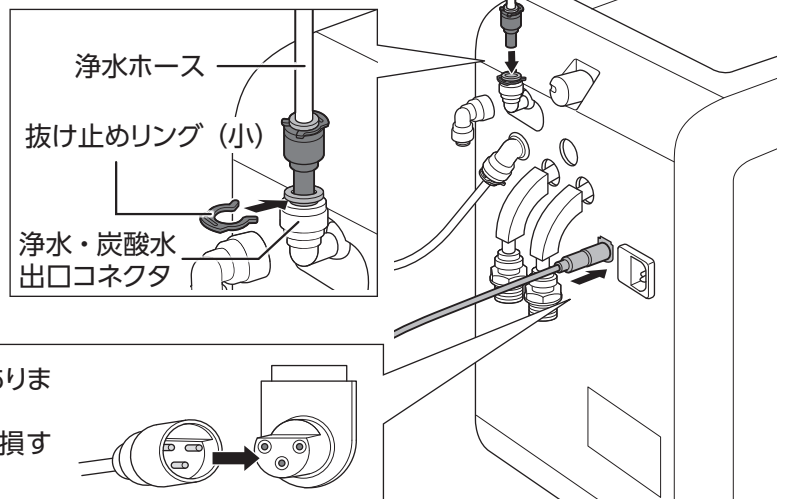


単水栓の場合



2 水栓の浄水ホースと給電コードを冷水機に接続します。

- 浄水ホースは浄水・炭酸水出口コネクタの中に 10mm 程度押し込んだ後、抜け止めリング (小) をはめ込みます。
- コネクタは回転しますので、無理な力が加わらない向きで接続してください。

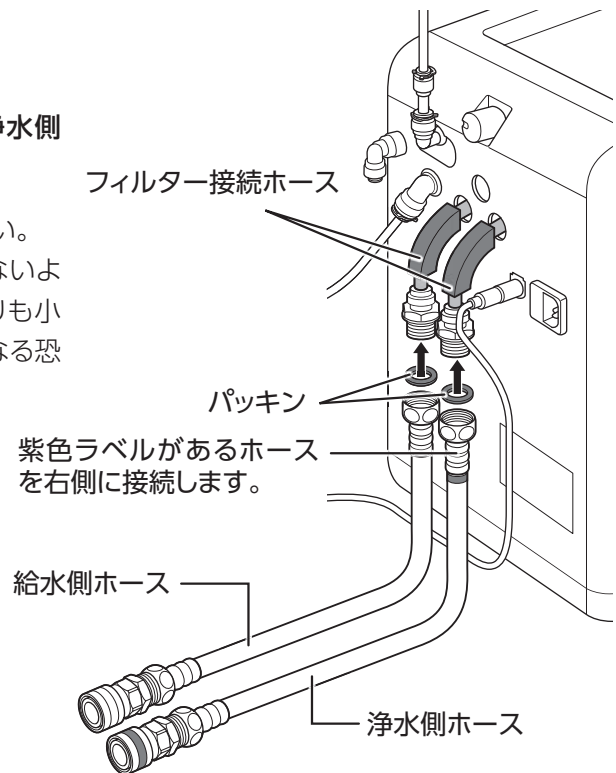


4 浄水器を設置・接続する。

- 1 本機背面のフィルター接続ホースに給水側・浄水側ホース（浄水器付属）を接続します。

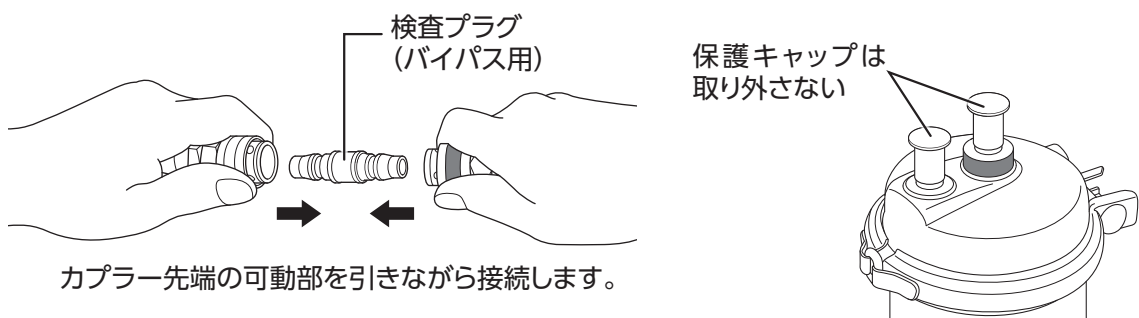
ホースについているパッキンを間に挟んでください。

- ホースはよじれがないように差し込み、折れないように注意してください。曲げ半径 60mm よりも小さく曲げると、ホースが折れて水量が少なくなる恐れがあります。



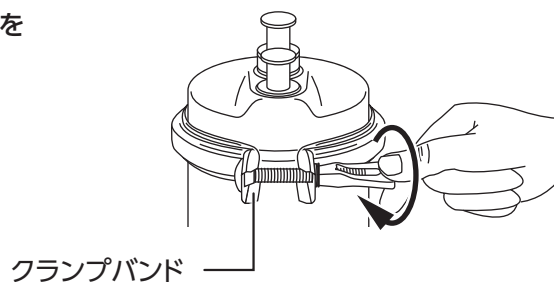
重要

本製品の施工をおこなってからお客様が入居されるまでの期間が2日以上の場合、浄水カートリッジに長期間水を滞留させないため、手順 2、3（カートリッジの取り付けと浄水器にホースセットを接続する手順）をおこなわずに、冷水機に接続したホースの両端を検査用プラグ（バイパス用）で接続してください。



- 2 浄水器をすぐ使用する場合のみ 浄水器にカートリッジを取り付けます。

- ① 蝶ナットをゆるめ、浄水器本体からクランプバンドを外します。



- ② 浄水器カートリッジを袋から取り出し、透明のカートリッジ保護カバーをはずします。

- ③ キャップ内側中央のねじ部にカートリッジを時計回りにねじ込みます。

このとき、カートリッジ接続部 O リングがキャップ内面に当たってから 90°程度締め付けてください。

- カートリッジねじ部の底部に O リングが装着されていることを確認してから取り付けてください。
- 無理な力でねじ込むとねじ部が破損するおそれがありますので、ご注意ください。



- ④ ふたとボディを正しくセットし、クランプバンドでしっかり固定します。

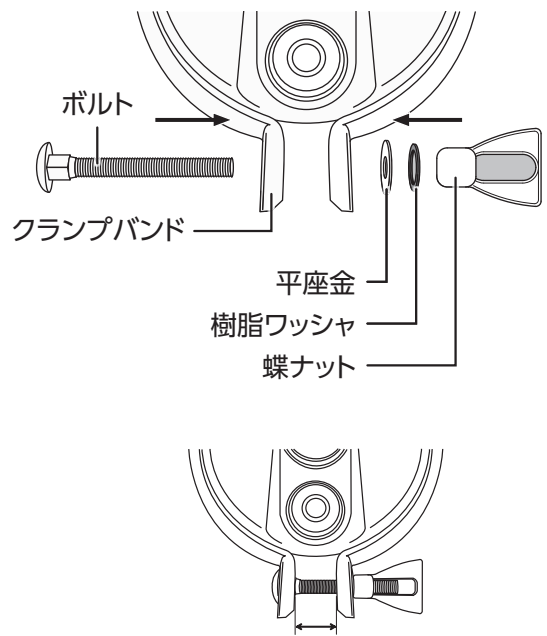
クランプバンドの切れ込みが入っている側に平座金、樹脂ワッシャ、蝶ナットをセットし、ボルトで固定します。

セットの方向を間違えるとふたとボディが正しく固定できず、水漏れの原因となる場合があります。

このとき、右欄外のスケールを目安に、クランプバンドの締め込み幅が 11 ~ 15mm となるように締め込んでください。

手で締めて 15mm 以下にならない場合、本体 O リングが正しくセットされていない可能性がありますので、水漏れを起こすおそれがあります。

- クランプバンドを締め込む際、摩擦でクランプバンドや蝶ナットが傷つくおそれがありますが、必ず規定の締め込み幅まで締め込んでください。



11 ~ 15mm

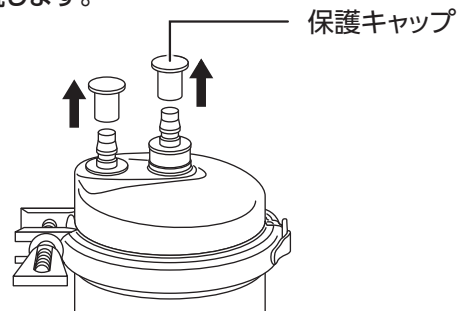
⚠ 注意

- ふたとボディをセットする際は、本体 O リングのズレやヨレが起こらないように注意し、クランプバンドを正しく固定してください。
しっかり固定されていないと、漏水の原因となります。
- クランプバンドを着脱するときは、小さな部品(平座金など)をなくさないようにご注意ください。
また、小さなお子様が部品を口に入れないよう、十分にご注意ください。
- ふたやボディの表面には、傷が付かないように十分にご注意ください。
錆の原因となり、破損して水漏れを起こすおそれがあります。

設置方法 (続き)

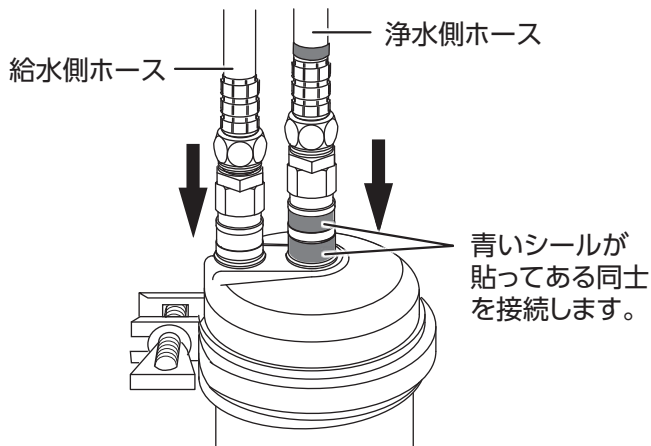
3 浄水器をすぐ使用する場合のみ 浄水器にホースセットを接続します。

- ① 浄水器ふたのノズル部についている透明な保護キャップを取り外します。



- ② 冷水機に接続した浄水側ホースと給水側ホースを浄水器に接続します。

ホースは給湯管に触れないように設置してください。



ポイント

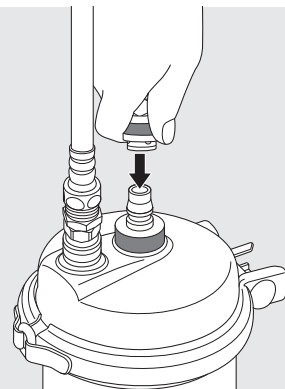
カプラーの着脱方法

取り付け

可動部を上方にスライドさせながら、ノズルの下部まで差し込み、そのまま、カプラーをカチッと音がするまで押し込みます。

取り外し

可動部を上方にスライドさせながら、ノズルから外します。



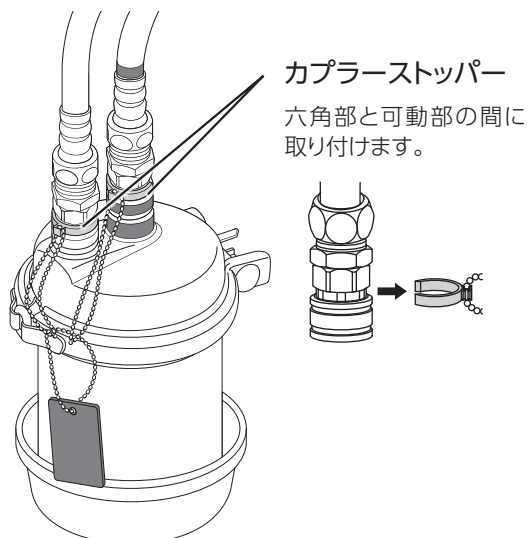
- ③ 浄水器の下に受け皿を置き、平らで安定した場所に置きます。

- ④ スナップ式カプラーstopperを取り付けます。

このstopperは、カプラーが物に当たるなどして、可動部が動いて脱落したときに、漏水などが発生することを防止するためのものです。

ご使用中は必ず取り付けてください。

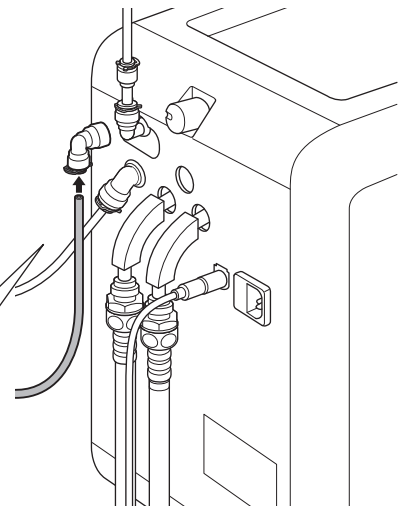
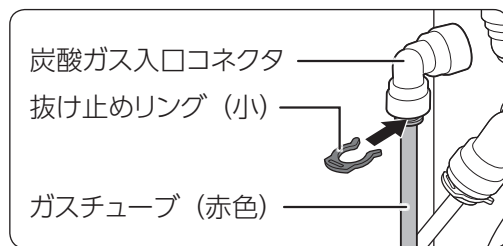
取り付け後は、チェーンがシンク下の物に引っかかるなどして外れないよう十分にご注意ください。



5 ボンベレギュレータを接続する。

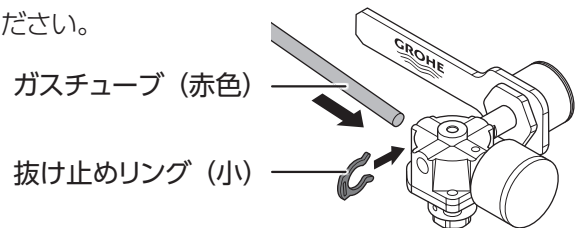
- 1 ガスチューブ（赤色、直径 6mm）を冷水機背面の炭酸ガス入口コネクタに差し込み、抜け止めリング（小）をはめ込みます。

- 接続チューブは奥まで（10mm 程度）押し込んでください。
- コネクタは回転しますので、無理な力が加わらない向きで接続してください。



- 2 ガスチューブを、ボンベレギュレータに接続し、抜け止めリング（小）をはめ込みます。

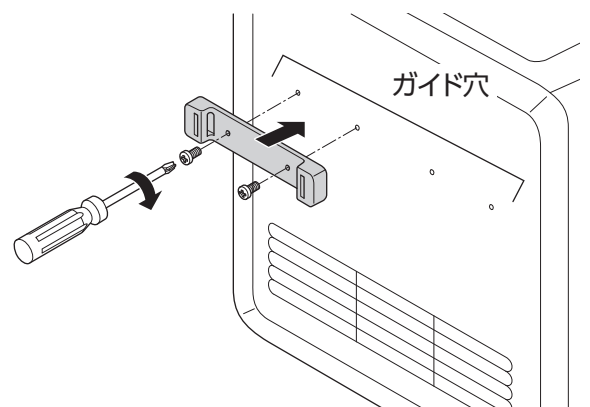
- 接続チューブは奥まで（10mm 程度）押し込んでください。



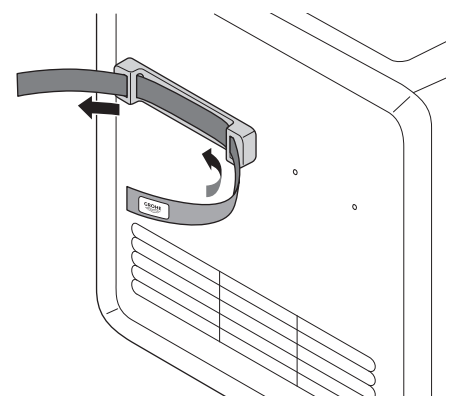
- 3 ボンベ固定器具を冷水機に取り付けます。

- ① 冷水機側面のガイド穴（両側にあります）のいずれか 2 箇所にて穴を開け、固定器具を M4 × 16 ねじ（付属）で固定します。

お願い 冷水機に取り付けるときは、電動ドリルを使用しないでください。



- ② ボンベ固定バンド（付属）を通します。
ガスボンベの取り付けはお客様がごこないます。



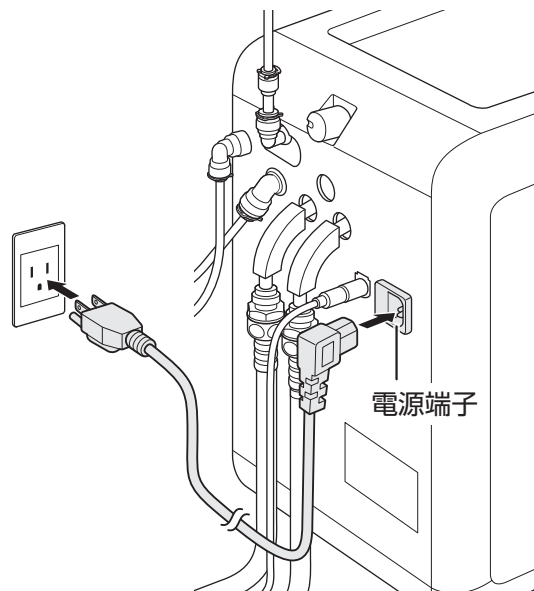
設置方法 (続き)

6 水漏れ確認をする。

止水栓、または水道元栓を開けて水漏れがないか確認してください。

7 電源を接続する。

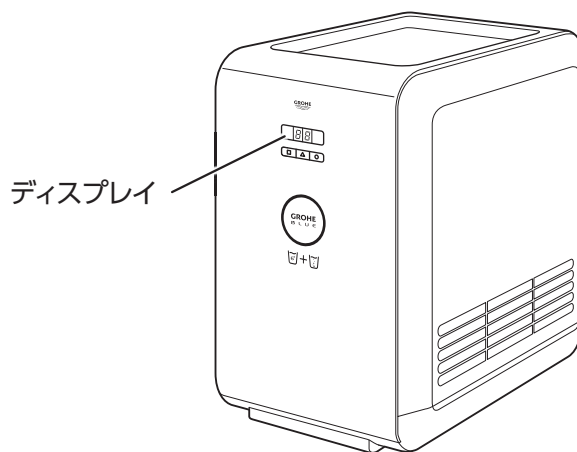
- 1 冷水機背面の電源端子に電源コード（付属）を差し込みます。
- 2 100V のコンセントに電源プラグを差し込みます。
3 芯コンセントがない場合は、付属の 2 芯変換プラグを使って差し込んでください。



8 冷水機の設定をする。

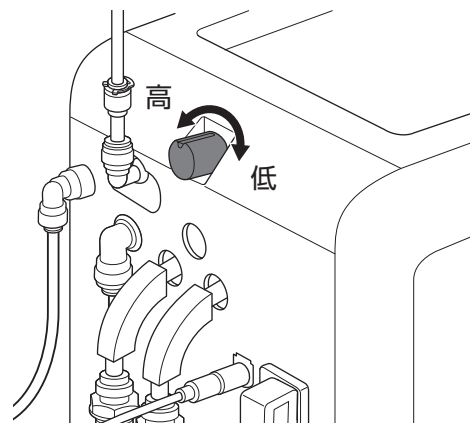
コンセントと接続すると数秒後に、水栓のハンドル表示部分が青に点灯します（混合栓の場合）。また、冷水機正面のディスプレイに「HC」と表示されます。

水栓のハンドル表示部分が赤に点滅し、ディスプレイに「E4」「E5」が表示された場合は、28ページの「トラブルシューティング」をご参照ください。



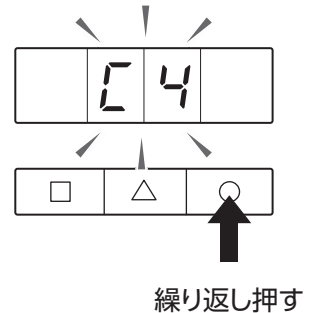
1 冷水温度を設定する。

冷水機背面の温度調整つまみを回して設定します。
調整範囲：5～15℃
※ 設置場所や周囲の環境により、15℃以上になる場合もあります。

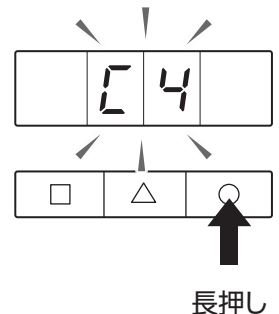


2 水のミネラル分による炭酸濃度を設定します。 ※日本はC4となります。

- ① ○ボタンを「C●」が点滅するまで長押しします。
※ ●は数字が入ります。
- ② ○ボタンを「C4」と表示されるまで繰り返し押しします。

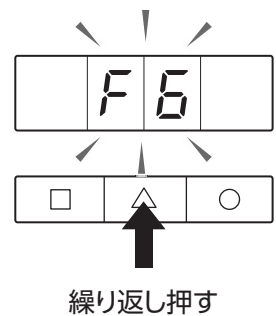


- ③ 「C4」と点滅表示されたら、○ボタンを「C4」が点灯表示になるまで長押しします。



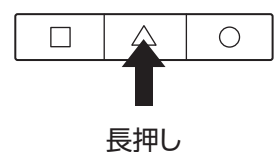
3 浄水カートリッジの能力設定をおこないます。 ※グローエの浄水カートリッジはF6となります。

- ① △ボタンを「F●」が点滅するまで長押しします。
※ ●は数字が入ります。
- ② △ボタンを「F6」と表示されるまで繰り返し押しします。



- ③ 「F6」と点滅表示されたら、△ボタンを「F6」が点灯表示になるまで長押しします。

設定後に表示される数字は、浄水能力の残存 (%) の目安です。

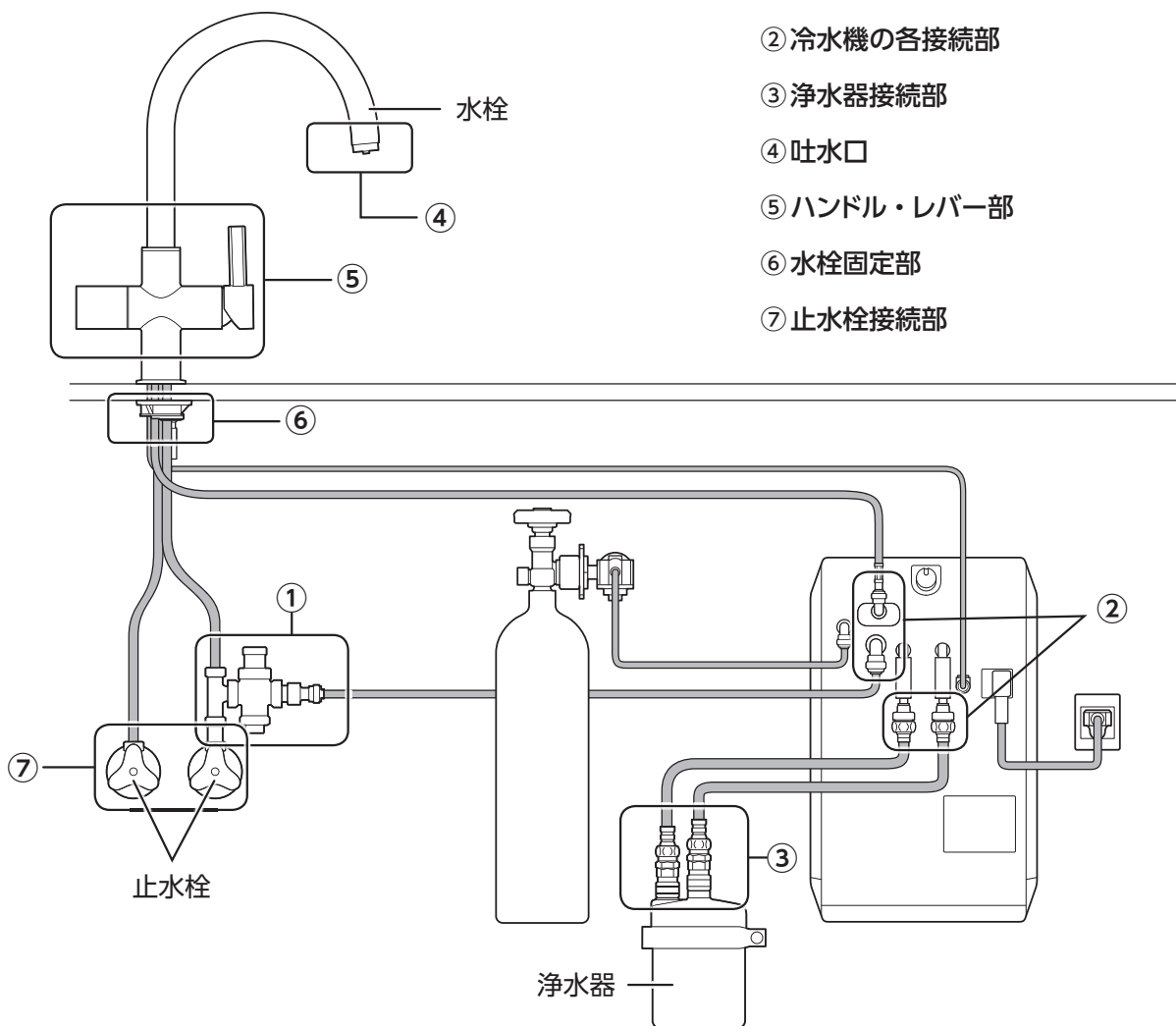


水漏れ点検

点検箇所

以下の箇所の水漏れを点検します。

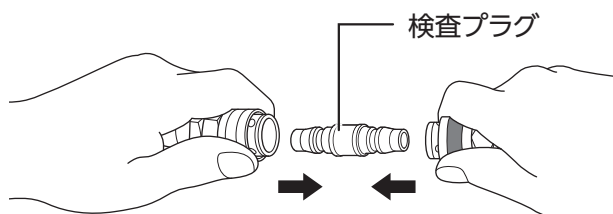
● 混合栓の場合の図です。単水栓の場合も同様です。



- ① 分岐接続部
- ② 冷水機の各接続部
- ③ 浄水器接続部
- ④ 吐水口
- ⑤ ハンドル・レバー部
- ⑥ 水栓固定部
- ⑦ 止水栓接続部

重要

● 本製品の施工からお客様が入居されるまでの期間が2日以上ある場合は、浄水器を接続せずに水漏れ点検をおこなってください。その際、付属の検査プラグ（バイパス用）を用い、カプラー同士をつないで点検をします。点検が終わったら配管内を水抜きして、止水栓または水道元栓を閉めます。

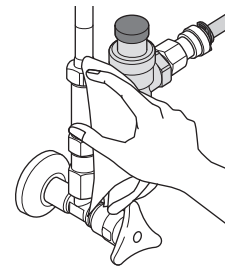


カプラー先端の可動部を引きながら接続します。

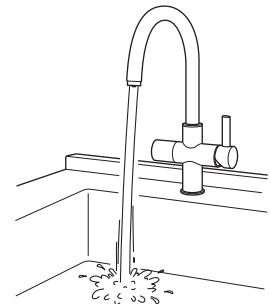
● 新築の立会検査時には、ご家庭の水道水に規定量の殺菌用塩素が含まれているかを確認します。浄水器を設置した水栓から採取した水には殺菌用塩素が含まれませんが、検査プラグ（バイパス用）でカプラー同士を接続した状態であれば、水栓には殺菌用塩素を含んだ水道水が流れます。

点検方法

- 1 各点検部（左図枠内）をタオルなどで拭きます。
- 2 水栓、止水栓（ない場合は水道元栓）、ボール弁（取り付けられている場合）が閉まっていることを確認します。
- 3 水栓、ボール弁の順に開けます。
- 4 止水栓（ない場合は水道元栓）をゆっくりと開けて浄水器に通水します。
このとき、止水栓（または水道元栓）は全開にはせず、水栓から出る水量を見ながら調整してください。
- 5 水栓から出る水量を適量に調整したら、水栓を閉めて、浄水器本体や配管に圧力がかかった状態にします。
- 6 冷水機の電源がオンになっていることを確認し、水栓のハンドルとレバーを何回か開閉して①～⑦から水漏れがないか確認します。
点検の際にはティッシュペーパーを使用すると、わずかな漏れもチェックできます



- 7 水漏れがなければ、2分間（約10リットル）放水します。（フラッシング洗浄）
浄水器設置後2～3日間は、浄水中に微細な気泡が発生して白濁することがあります。1～2分間程静置すると気泡は消えて透明になります。なお、このように白濁した状態でも、飲料用に利用いただいて問題ありません。



浄水器本体に通水せず、検査プラグ（バイパス用）で水漏れ点検をした場合は、点検後に検査プラグを外し、配管内を水抜きしてください。

また、後日お客様へお引渡しの際、施工工事店の方が浄水器配管後の水漏れ点検をしない場合は、お客様自身で点検とフラッシング洗浄をしていただくこと、また、その方法などを必ずご説明ください。

⚠ 注意

- 水漏れした場合は、配管を接続し直し、再検査してください。
- 本製品を設置した後、一晩以上経過してからもう一度漏水がないか再確認していただけてください。
これは一般に夜間は昼間よりも水道の水圧が高くなり、接続部の不十分な締め付けやゆるみなどで漏水することがあるためです。

トラブルシューティング

症状

冷水機の ディスプレイ表示	水の出	水栓の LED ランプ
—	水が出ない	—
E 1	浄水が出ない	赤色点滅
E 2	—	—
E 3	—	—
E 4	浄水が出ない	赤色点滅
E 5	浄水が出ない	赤色点滅
E 6	浄水が出ない	赤色点滅
E 7	浄水が出ない	—
E 8	—	オレンジ点滅
E 9 H 1	—	—
—	炭酸ガスが 入らない	—

原因

水の供給が中断されている。
水の供給が中断されている。 ポンプが遮断されている。
連続使用時間（4分30秒）を超過して 使用している。
水栓と冷水機が接続されていない。
接続ケーブルが故障している。
データ送信が不良になっている。
冷水機が故障している。
同期不良。
冷水機内が漏水している。
浄水カートリッジの交換時期。
クーラーが過熱している。
ガスポンプが空になっている。
ガスポンベの栓が開いていない。
ガスポンベとの接続が不完全。

上記手順で直らない場合は、グローエサービス課にご連絡ください。

対策

	止水栓または水道元栓を開けます。
	浄水側のボールバルブを開け、冷水機の電源プラグをコンセントから抜き、30秒後に再び接続します。
	水栓のハンドルを閉じ、しばらくたってから、ハンドルを回します。
	水栓と冷水機の水栓電源端子を給電コードで接続します。 ※ 給電コードのプラグが破損している場合は、サービス課にご連絡ください。
	弊社サービス課にご連絡ください。
	以下の手順で同期を確認します。 ① 冷水機の□○ボタンを「SE」を点滅表示するまで同時に長押しする。 ② □ボタンを押して「SE」の点滅を止め、「C」を表示させる。 ③ △ボタンを押して、「C」を「H」に変える。 ④ □ボタンを「HC」が表示するまで長押しする。 ⑤ 水栓のハンドルのLEDランプが赤色から緑色に変わったら、すぐにハンドルを強炭酸の位置にし、LEDランプが点滅するまで待つ。 ⑥ LEDランプが点滅したら、ハンドルを止の位置にする。 以上の手順で冷水機のディスプレイにカートリッジ残量%が表示されれば成功です。
	冷水機の電源プラグをコンセントから抜いて約1分後、再接続します。 症状が直らない場合は、サービス課にご連絡ください。
	E 4 エラーのときと同様の方法で同期を確認します。
	冷水機の電源プラグをコンセントから抜いて約1分後、再接続します。 症状が直らない場合は、サービス課にご連絡ください。
	浄水カートリッジを交換してください。(取扱説明書を参照)
	水栓を閉じ、冷水機の電源プラグをコンセントから抜きます。 冷水機の周囲を換気し、冷水機および周囲の温度が下がったら、約30分後に再接続します。
	ボンベを交換してください。(ボンベレギュレータのガスメーター圧力の有無を確認)
	ガスボンベのバルブを全開にしてください。(ボンベレギュレータのガスメーター圧力の有無を確認)
	冷水機背面およびボンベレギュレータの赤いチューブがしっかり接続されているか確認し、ボンベレギュレータのガスメーター圧力が下がらないことを確認します。

グローエジャパン株式会社 サービス課

TEL **0570-666-368**

FAX 03-5775-7611

< 受付時間 >

平日 9:30 ~ 17:30 (受付・お問い合わせ)

平日夜間・土・日・祝日 24時間 (受付のみ)

MEMO

お問い合わせ先

グローエジャパン株式会社

TEL **03-5775-7500**

(9:30~17:30 土・日・祝日・夏季休暇・年末年始は除く)

〒107-0061

東京都港区北青山 2-11-3 A-PLACE 青山 6 階